

ホームステイで大きく成長



令和5年度恩納村アメリカホームステイプログラムが7月26日から8月18日までの24日間の日程で行われ、研修生4名がアメリカ合衆国のカリフォルニア州サンタバーバラ郡サンタマリアのホストファミリー宅にホームステイしました。

研修生は、学校での授業や校外学習、見学などを通して文化の違いを体験しました。帰国後に行われた報告会では、ホームステイで学んだことや周りの人たちへの感謝、今後の目標を話しました。

子どもたちへ絵本の寄贈

9月14日、Mammy'sマーケット(マミーズマーケット)代表の松田エレナさんが村役場を訪れ、子どもたちの学びに役立ててほしいと絵本を寄贈いただきました。

松田さんは「絵本を読むことで、子どもたちが様々なことに興味をもって学んでくれたらうれしい。子どもたちの健やかな未来を願っています」と話しました。



初優勝を報告



9月16日・17日に開催された、第6回JAおきなわ旗争奪沖縄ガールズトーナメント小学生軟式野球大会において初優勝を果たした山原トキめきガールズあらい まひるの新井愛陽さん、新垣七凧さんあらかき なな、とうやま きこ當山紀子さんが村役場を訪れ、宜志富教育長へ優勝と県大会出場の報告を行いました。

チームは国頭郡で構成され、瀬良垣クラブの3人の選手が参加しました。

水産庁長官賞受賞

第42回全国豊かな海づくり大会が北海道で開催され、恩納村を活動拠点とするチーム美らサンゴの活動が水産資源の保護・管理に優れた実績のある功績団体として水産庁長官賞を受賞し、9月20日に村役場を訪れ長浜村長に受賞の報告を行いました。

チーム美らサンゴは、平成16年に設立されて以降、現在では沖縄県内7社、県外10社で構成され、サンゴの植え付けを行うだけでなく、泳ぐことができない方でも苗づくりなどに参加できるようノンダイバープログラム、植え付け後のモニタリング及び生存を高める努力とフォーラムなどを通じた情報発信により、環境教育や普及啓発の面でも貢献が顕著であり、幅広い連携による効果的な活動の継続が評価されました。

